

土曜保育実施園の集約について

1 土曜保育について

保護者が土曜日に保育を希望する場合、現在、市内の 8 保育園（竜北、竜西、竜東、上の原、美篤、東春近、西箕輪、高遠）で園児を受け入れている。

【土曜保育利用の状況】

土曜保育一日当たり平均利用児童数（4～9月）

①竜北保育園	2.3人	⑤美篤保育園	6.2人
②竜西保育園	4.5人	⑥東春近保育園	4.0人
③竜東保育園	7.4人	⑦西箕輪保育園	2.1人
④上の原保育園	6.5人	⑧高遠保育園	4.8人
8園計 37.7人			

2 課題等

土曜保育に対応するためには、1園当たり少なくとも（児童が一人であっても）午前 2 人、午後 2 人の計 4 人の保育士が必要となる。（4人×実施 8 園＝32人）

保育士の確保が大変厳しいなか、職員の配置が困難となってきた。令和 6 年 9 月市議会一般質問においても、保育士の負担軽減のため実施園を集約すべきとの質問が出された。

3 実施園集約の検討について

(1) 集約対象園

園長会において検討した結果、次の 3 園については集約が可能と判断した。

- ①竜北保育園（利用者が少ない。施設老朽化。）
- ②上の原保育園（同じ伊那東小学校区内の竜東保育園で受入対応可能。休日（日曜・祝日等）保育実施園のため年末年始以外稼働している。）
- ③西箕輪保育園（利用者が少なく、短時間利用が多い。）

(2) 対象 3 園の利用世帯へのヒアリング（20世帯、対象児童 25 人）

ヒアリング結果 協力できる（20世帯） 協力できない（0世帯）

※ヒアリングの際の意見

- ・「先生方の負担が大きいと思っていた」「ありがたいといつも思っていた」
- ・「通勤途中とか祖父・祖母の家の近くの園にするとか考えたい」
- ・「初めての保育園で子どもが慣れていけるか心配」

4 今後のスケジュールについて

R6 11月 新たな預け先園について保護者の希望の聞き取り、集約。

12月 当番保育士の調整（新当番表の作成）

R7 1月 集約後の 5 園による土曜保育開始（1月4日（土））